

富良野市議会だより

No 93

2021.5
＜令和3年＞

ツラノギカイ



主な内容

- ・ 3月定例会で行われた主な質疑 P2～3
- ・ 代表質問 P6～7
- ・ 一般質問 P8～10
- ・ 委員会報告等 P10～12
- ・ インフォメーション P12
- ・ 議会の中からこんにちは・編集後記 P14

富良野の森を象徴する天然記念物・絶滅危惧種
市の鳥「クマゲラ」

撮影 家入 茂 議員



富良野市議会だよりは古紙パルプ配合率
60%再生紙を使用しています。

提出された主な議案と質疑

令和2年度一般会計補正予算
1億413万2千円を増額

地域センター病院新型コロナウイルス感染症対策支援金

1050万円

事業内容

地域センター病院は感染症指定病院となっており、感染症対策に従事する方への手当として、沿線町村と協調して支援するものです。

問 沿線町村の負担金算定方法と本市の負担金額は。

答 予算額の約半分500万円を沿線市町村の人口に応じて負担し、富良野市の負担は263万3千円となる。

問 支援金の対象となる手当の支給期間は。

答 令和2年2月1日から令和3年3月31日までの期間が対象となる。

除排雪業務委託料 5000万円

事業内容

除排雪業務委託で例年の降雪等を考慮し不足する部分を増額するものです。

問 予算の積算や除排雪における安全確保はどうなっているか。

答 2月27日現在の執行済み額は、2億8400万円となっております。今後の支出予定を差し引くと

1000万円の残となる。例年の出勤状況を考慮して6000万円が必要と見込まれることから積算した。

また、安全確保は、誘導員を配置し対応している。

「子どもと親の相談員」活動事業費

34万4千円

事業内容

不登校や問題行動の防止・早期発見・早期対応、学級の課題や児童虐待等に対応するためスクールカウンセラーを派遣するものです。

問 増額となった理由は。

答 コロナ禍のため夏休み・冬休みの短縮により相談件数が増えていることへ対応するため。

特別支援推進事業費 △550万円

事業内容

幼児・児童・生徒が、障がいの有無に関わらず、自立や社会参加に向け個々の能力を伸ばすことができるよう支援員により支援する事業です。

問 減額の理由と支援活動に影響は生じなかったか。

答 当初27人で計画していたが、21人の確保にとどまったこと、新規業務で1人確保できなかったことが減額の理由である。

支援については、優先順位等の整理をし、必要な対応を行っており、大きな支障は生じていないと考えている。

【追加議案】

定例会の会期中、追加議案として、令和2年度と令和3年度の補正予算議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決されました。

令和2年度一般会計補正予算
19億934万9千円を増額

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費

1137万8千円

事業内容

新型コロナウイルスワクチンについて、4月から接種する分の体制整備に関するものです。

なお、これらの経費は繰越明許費として令和3年度へ繰越となります。

問 接種会場への送迎の対象地域と接種をためらう方への相談は。

答 送迎は、東山・山部ルートと麓郷・布礼別ルートを考えている。接種をためらう方には、コールセンターで相談対応をしたい。

除排雪業務委託料 6000万円

事業内容

3月上旬の大雪により、排雪経

各会計予算を原案どおり可決

までの21日間で開かれ、各議案の審査が行われました。

令和3年度
総額253億630万円

令和3年第1回定例会（3月定例会）が2月25日から3月17日

費などが不足するため増額するも
のです。

**令和3年度一般会計補正予算
1億9366万4千円を増額**

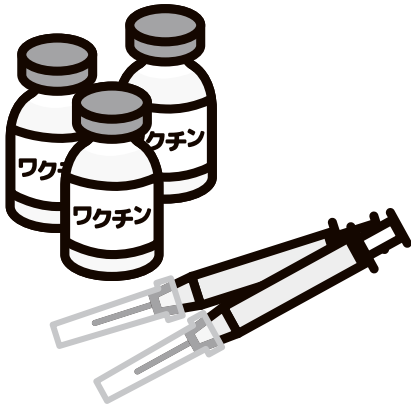
**新型コロナウイルスワクチン接種
事業費 6266万4千円**

事業内容

新型コロナウイルスワクチンと
して1万3760人分を委託する
ものです。

問 接種人数の算定根拠は。

答 接種の対象は16歳以上であ
り、本市の住民を抽出すると約
1万9100人となる。この人数
に対し接種率を全体で72%と想定
し、接種人数を求めた。



令和3年度各会計予算の審査について

令和3年度の予算規模は、一
般会計174億7200万円、特
別会計64億6080万円、企業
会計13億7350万円の総額
253億630万円で、前年度対
比14・6%の増となりました。

第6次富良野市総合計画の初年
度として、計画の着実な推進に努
めるとともに、歳入に見合った予
算編成を行ったと説明を受け、予
算特別委員会を設置、関連する議
案と合わせて付託し、休会中に審
査を行いました。

審査した結果及び経過は、本会
議で次のとおり報告後、可決して
います。

予算特別委員会報告

令和3年度予算案は、本年度よ
りスタートする第6次富良野市
総合計画に掲げる施策の着実な
推進に努めるとともに、事業費
の見直しによる経費の削減、歳
入の確保に努めたとする総額
253億6300万円です。

審査においては、経済の状況や
国の地方財政対策等を踏まえつつ、
本市の将来を見据え、各事業予算
が適正に編成されているかの観点

から、質疑が行われました。

質疑等の状況は、一般会計予算
の歳出では、ふるさと納税推進事
業費、文書管理経費、介護人材確
保事業費、子どもの木育スタート
事業費、地域医療対策費、ふらの
版DMO推進事業費、東5条3丁
目地区市街地再開発事業費など、
歳入では、市税、ふるさと応援寄
付金、基金繰入金などについて、
特別会計、企業会計では、国民健
康保険特別会計、ワイン事業会計
について、活発な質疑が行われま
した。

質疑終了後、討論の申し出はな
く、採決の結果、付託された13件
の議案について、全会一致で「可
決すべきもの」と決定しました。



令和3年 第1回 富良野市議会定例会 議決結果表

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第 1 号	令和3年度富良野市一般会計予算	3月17日	原案可決
議案第 2 号	令和3年度富良野市国民健康保険特別会計予算	3月17日	原案可決
議案第 3 号	令和3年度富良野市介護保険特別会計予算	3月17日	原案可決
議案第 4 号	令和3年度富良野市後期高齢者医療特別会計予算	3月17日	原案可決
議案第 5 号	令和3年度富良野市公共下水道事業特別会計予算	3月17日	原案可決
議案第 6 号	令和3年度富良野市簡易水道事業特別会計予算	3月17日	原案可決
議案第 7 号	令和3年度富良野市水道事業会計予算	3月17日	原案可決
議案第 8 号	令和3年度富良野市ワイン事業会計予算	3月17日	原案可決
議案第 9 号	令和2年度富良野市一般会計補正予算(第14号)	3月 1日	原案可決
議案第10号	令和2年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	3月 1日	原案可決
議案第11号	令和2年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	3月 1日	原案可決
議案第12号	令和2年度富良野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	3月 1日	原案可決
議案第13号	令和2年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	3月 1日	原案可決
議案第14号	令和2年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	3月 1日	原案可決
議案第15号	令和2年度富良野市水道事業会計補正予算(第2号)	3月 1日	原案可決
議案第16号	富良野市財政調整基金の処分について(令和3年度)	3月17日	原案可決
議案第17号	富良野市公共下水道事業基金の処分について	3月17日	原案可決
議案第18号	富良野市立地適正化計画策定・検証委員会設置条例の制定について	3月17日	原案可決
議案第19号	富良野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第20号	富良野市立学校設置条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第21号	富良野市文化財保護条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第22号	富良野市ふれあいセンター設置条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第23号	富良野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第24号	富良野市国民健康保険条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第25号	富良野市介護保険条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第26号	富良野市介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第27号	富良野市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第28号	富良野市市道の構造の技術的基準に関する条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第29号	富良野市道路占用料徴収条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第30号	富良野市公園条例の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第31号	市道路線の認定について	3月17日	原案可決
議案第32号 ～第54号	富良野市農業委員会委員の任命について	2月26日	任命同意23件

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第55号	令和2年度富良野市一般会計補正予算（第15号）	3月17日	原案可決
議案第56号	富良野市財政調整基金の処分について（令和2年度）	3月17日	原案可決
議案第57号	令和3年度富良野市一般会計補正予算（第1号）	3月17日	原案可決
議案第58号	富良野市財政調整基金の処分について（令和3年度）	3月17日	原案可決
議案第59号	富良野市介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例等の一部改正について	3月17日	原案可決
議案第60号	自動車事故の損害賠償及び和解について	3月17日	原案可決
議案第61号	自動車事故の損害賠償について	3月17日	原案可決
その他会議に付した事件	発議 議員の派遣について	3月17日	決 定
	動議 議会広報特別委員会の設置について	3月17日	特別委員会設置 継続調査
	常任委員会委員の選任について	3月17日	選 任
	議会運営委員会委員の選任について	3月17日	選 任
	所管事項に関する委員会報告		
	・事務調査報告（総務文教）	2月26日	調 査 済
	・事務調査報告（市民福祉）	2月26日	調 査 済
	・事務調査報告（経済建設）	2月26日	調 査 済
	富良野市議会議会改革特別委員会報告	2月26日	中間報告
	監査委員報告		
	・例月出納検査結果報告（令和2年度10月分～12月分）	2月26日	報告済2件
	・定期監査報告	2月26日	報 告 済
	・財政援助団体監査報告	2月26日	報 告 済
	閉会中の所管事務調査について（議会運営）	3月17日	許 可 2件

富良野市議会 web コンテンツへのアクセス

- 議会ではYouTubeによる動画配信のほか、委員会報告書や議会の予定などをWebサイトで発信しています。スマートフォンで下記のQRコードを読み取ると、第1回定例会に関する情報へ直接アクセスすることができます。

代表質問 3月4日	一般質問 3月9日	委員会報告 2月26日	議案審議 3月1日、17日	市議会全般
議会中継 	議会中継①  議会中継② 	議会中継  報告書全文 	議会中継 3月1日  議会中継 3月17日 	富良野市議会議会 中継チャンネル  市議会ホームページ 

代表質問

代表質問



石上 孝雄〔民主クラブ〕

問 コロナ禍にあつて全世代が新しい生活様式の実践をし、健康都市をどう構築していくのか。

答 健康やかに暮らし続ける健康寿命の延伸と生活環境の整備が重要と考える。施策として、生活習慣病の予防、健康マイレージ事業による主体的な健康づくりの推進、高齢者保健事業と介護予防の実施に取り組んでいく。市民協働やボランティアの推進、ふれあいサロンなど通いの場の普及、幸せを実感できる社会参加を促進していく。

問 スマートシティの推進とは。

答 ICTを活用することで、市民の健康の見える化や健康づくりに対するインセンティブが働き、市民が健康で幸せが実感できることを目指し、地域交通の充実に向けた計画を策定している。ICTの導入に当たっては、市民の意見の把握と高齢者などに配慮し取組みを進めて行く。

問 共創のまちづくりとは。

答 第6次富良野市総合計画は、「まちづくりのコンセプト」、4つの「WA」と「共創、デジタル」の2つのアプローチで構成され、多様な人達が対話を重ね、新しい価値を創り上げていくため、身近な課題や将来の富良野についてなど、アイデアを形にする仕組みを構築し、共に創るまちづくりを目指していく。

問 富良野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進め方は。

答 第6次富良野市総合計画と関連することから、基本計画の重点施策として位置付け、これまで総合計画、総合戦略個々に設定していた成果指標、検証作業を一つの計画として行う事としている。

問 小中学校の適正規模、適正配置は。

答 児童生徒数の推移や課題、対応策などを情報提供し、保護者、地域と情報共有を図りながら、子どもたちにとって良い教育環境に向け、協議を進めて行く。

問 切れ目のない子育て支援は。

答 保健センターの機能充実、強化の検討を進める。妊娠から出産、18歳までの発育・発達・子育ての悩みなど総合的に相談や支援ができる体制を考えている。



後藤 英知夫〔ふるらの令和の会〕

問 ICT（情報通信技術）をどのように市民生活の利便性に繋げていくのか。

答 住民票・印鑑証明書・所得証明書等のコンビニ交付サービス、押印廃止、情報発信、除排雪効率化の実証実験を踏まえた本格運用などに取り組む。

問 介護人材の確保に向けた取り組みとは。

答 資格取得費用助成を引き続き実施するとともに、外国人介護人材の確保に向け、東川町「外国人介護福祉人材育成支援協議会」の正会員となるよう取り組む。

問 農業の担い手対策は。

答 これまでの園芸農業中心の新規参入に加えて、酪農業の第三者継承の他市成功事例を参考に、円滑な継承に向け、育成プログラムや支援策を検討していく。

問 アフターコロナを見据えた雇用維持に対する見解は。

答 異業種間・事業所間をつなぎ、雇用の維持と人手不足の解消を図り、事業所による短期雇用や副業制度の導入など、関係機関と連携し雇用環境の整備に努める。

問 ふるさと納税に関し、行政側の体制整備が肝要であると考えが見解は。

答 専門部署や人員を配置するのではなく、協力事業者との一層の連携を図り、サイト運営会社などのノウハウや支援により、魅力的な返礼品の拡大や開発に努める。

問 樹海学校が開校するが、他の学校での義務教育学校化の考えは。

答 現在、他の学校において、義務教育学校への変更は考えていない。

問 学校における働き方改革に向けて、地域と連携しての適正な勤務環境づくりとは。

答 学校の教育活動を保護者や地域に積極的に周知し、コミュニティ・スクールを中心とした支援体制の充実を図り、教職員の負担軽減・働き方改革につなげる。

問 へき地保育所の在り方は。

答 現状での運営を維持することが困難になった場合を見据え、令和3年度から保護者や地域との検討・協議を進めていく。

なお、議員顔写真は質問中ではなく、別途撮影した写真です。



大西 三奈子〔ふらの未来の会〕

問 介護人材不足について将来推計と、人材確保に向けて外国人受け入れ環境整備の方向性は。

答 介護人材不足の改善が見られない状況にあり、資格取得できる環境づくり、事業所と連携した研修費用の助成の他、「外国人介護福祉人材育成支援協議会」の正会員となるよう取組む。

問 ジェンダー平等社会の実現に向けた男女共同参画推進とは。

答 男女の性別に関係なく自らの意思で活躍できる機会の確保、ともに責任を担うべき社会の実現であり、その施策に取組む。

問 文化芸術振興条例制定に向けた今後の取組は。

答 文化芸術活動を推進するとともに、文化芸術振興条例制定に向けた議論を行う。

問 就農者の高齢化と後継者不足に必要な対策は。

答 農業の魅力発信、新規就農者の育成に加え、酪農業における第三者継承への支援を検討する。

問 コロナ禍における市内経済の影響に対し、早急に産業経済構造調査とその対策が必要と考えるが見解は。

答 地域経済の影響把握と効果的な経済復興対策に資することを目的として早急に調査し、スピード感を持って今後の対策に活かしていく。

問 観光誘客は、インバウンドのみならず国内にも目を向けるべきと考えるが見解は。

答 国内の誘客も重要と捉え効果的な情報配信含めて検討していく。

問 市立図書館を充実した社会教育施設として利活用するための今後の取組内容は。

答 新庁舎完成後、図書館の社会教育施設としての充実に向け、施設利用者などから意見をいただき、市民にとって利便性の高い有益な利活用の検討を進める。

問 保育サービス推進について、受入れ環境整備の具体的内容は。

答 待機児の解消やニーズへの対応として、民間保育施設等との連携、市立保育所における受入れ枠の拡大、へき地保育所の柔軟な受入れ対応など環境整備に努める。



宇治 則幸〔市民連合議員会〕

問 ICT（情報通信技術）の活用による市民生活の様々な分野での整備計画の方向は。

答 昨年、総務省の「地域IoT実装のための計画策定・推進体制構築支援事業」に採択されている。IoT（モノのインターネッ

ト）を活用することで、市民が健康で暮らせる「スマートウェルネスシティ」を目指すと共に、地域交通の充実に向けた「スマート・モビリティ・シティ」に関する計画を進めている。

問 圏域の周産期医療・小児科医療体制の確保は。

答 医師会・地域センター病院と連携し、医療体制の維持に向けた情報共有を行うと共に、医療体制の確保のため、地域センター病院に対する支援を圏域の町村と連携して進めていく。

問 農業担い手対策は、現行の育成及び確保の継続と共に、多様な人材確保を進める方法は。

答 富良野市農業担い手育成機構を中心とした取組により、新規就農者、農家子弟の継承者を受け

入れている。また、検討中の案件では、第三者継承方式による酪農経営を目指す1組がある。単身者には農業法人に就農した者、農業ヘルパーになった者もあり、相談者の状況に応じた就農支援を進めているが、今後、単身者などが生計の成り立つ新たな就農方法を研究していく。

問 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善は、どのような活動をイメージしているか。

答 子どもたちが、学ぶことに興味・関心を持ち、見通しをもつて粘り強く取組、多様な表現や対話によって思考を広げ、問題を見出して解決策を考えることができよう、「どのように学ぶのか」を重視した授業を行っていく。



ここが聞きたい! 一般質問

令和3年第1回定例会において4人の議員が一般質問を行いました。文責は、質問者にあるものとして、質問・答弁の要旨を掲載しております。なお、議員顔写真は質問中ではなく、別途撮影した写真です。

質問者が収録されている動画のタイトル、動画上で質問が開始される時間は下記のとおりです。

・富良野市議会 議会中継(令和3年3月9日)①		
宮田 均 議員	3分	5秒 ごろ
佐藤 秀靖 議員	1時間	4分 34秒 ごろ
・富良野市議会 議会中継(令和3年3月9日)②		
大栗 民江 議員		42秒 ごろ
水間 健太 議員	29分	51秒 ごろ

富良野市議会のYouTubeチャンネルでは、議案質疑や一般質問など、本会議のすべてを視聴できます。5ページのQRコードを読み込むとサイトに接続できます。

職員の海外研修は、 これから必要では

宮田 均
〔無党派〕



職員数や給料の適正化と研修について

問 職員の休暇中における市民からの問合せなどに対し、他の職員によるフォローはされているのか。

答 係内や課内で、休暇中の業務の引き継ぎや、申し送りを行い、業務に支障が生じないように努めている。

問 職員研修において、海外研修は、手法をはじめ、将来の自治のあり方を考えるとき有効と思われる。海外研修に対する見解は。

答 道庁、西脇市、道市長会へ派遣してきた。現在、令和元年5月より、文部科学省本省へ、職員を派遣している。

人事交流は、組織力向上に繋がることから、相互の条件が整えば進めたいが、海外研修は考えていない。

問 職員の来庁者に対する「明るい挨拶」での接遇は、「コミュニケーション」を良好にする第一歩と考える。職員(会計年度任用職員を含む)の教育を、どの様に行っているのか。

答 採用時研修をはじめ、富良野商工会議所などが主催する接遇研修の受講、外部講師の招へいや、

他団体主催の研修会への参加など接遇力向上に努めている。

新市庁舎建設着工後における見通しについて

問 全体事業費は62億3千万円、うち市の負担とされる37億5千万円の増はないか、着工に伴い、市内経済への波及効果はあるか。

答 令和3年度以降に設計積算の予定はあるが、現時点において、全体事業費の変更はなく、市の負担額も基本計画時から変更はない。経済波及は、17社の地元採用が決定し、発注額は集計中である。



工事の進捗状況

防災対策は万全か

佐藤 秀靖
〔ふらの未来の会〕



問 防災行政の諸課題について

答 地域防災力向上に資する実務経験者の知見の活用は。

問 本年一月に内閣府が証明する地域防災マネージャーの資格を有する職員を採用し、主に市民の防災意識の向上や地域と連携した防災体制の強化、職員に対する防災教育のほか、災害発生時の状況判断のサポートや関係機関との連携などの防災業務に従事している。

問 北海道が認定する「地域防災マスター」制度の活用は。

答 昨年11月に上川総合振興局が主催する北海道地域防災マスター研修会を本市において開催し、市民47名が参加し認定を受けており、本年においても北海道に対し研修会開催を要請している。

問 地域防災マスターの活動例としては、ボランティアとして「できる範囲」で地域防災訓練などの自主防災組織や町内会での防災活動への参加や、災害時には住民の避難支援や避難所運営支援など地域の防災活動の中心となつて活動されることが期待される。

問 認定者の意向を踏まえ、組織化などについて検討する。

問 昨年8月に策定された富良

野市強靱化計画において「災害対応能力向上に向けた消防署・消防団との連携」とある。行政から消防に対する役割や要望に基づく連携について、十分に協議し災害対応能力向上に資する訓練環境を整える必要があると考えるが見解は。

答 消防署・消防団の大きな役割として、消防活動、救急・救助活動、水防活動、住民の避難誘導があげられており、平時からの相互の情報交換により、迅速な活動を行うこととしている。また、防災訓練においても役割と手順を相互に確認し訓練に臨む。

結婚新生活のスタートを応援する取り組みを

大栗 民江
〔無会派〕



若者世代を支援する取り組みについて

問 長期化するコロナ禍により、経済的な理由から結婚や出産に踏み出しにくいことへの、支援が必要と考えるが、本市における婚姻数と出生数はどのように推移しているのか。

答 令和2年度の婚姻数は90組、出生数は126人となっており、推移としては、全体として微減している状況となっている。

問 市では、9割以上の男女は結婚の意思があるとし、結婚し将来持ちたいと思う子どもの数は2人から3人以上と7割以上が希望している。これらの方が結婚した場合において、世帯構成に見合う住まいの確保に向け、結婚新生活支援にも取り組むべきと考えるが見解は。

答 結婚新生活支援として、第6次総合計画の重点施策「輝く。つながりあう。ひとのWA!」富良野ならではの子育て環境づくり」として、既存の住宅支援事業に、結婚新生活支援事業の活用を含め、今後、検討していく。

問 結婚後における新生活のスタートに対し、来年度から要件緩



全戸配布されている防災ガイドマップ



ワインレッド色とピンク色の婚姻届け

安心して

投票できる体制を

〔水間の令和の会〕

水間 健太

選挙における新型コロナウイルス感染症対策について

問 投票所出入口での対策は。

答 投票所入口にマスク着用依頼を掲示し、受付での検温の実施、消毒用アルコールの用意、定期的な換気を行う。

問 マスク非着用者に対しては、マスクを用意し着用をお願いする。

問 会場内の混雑対策は。

答 市街地の7箇所と山部福祉センターの投票所においては混雑の際に密集を避けるため入場制限を行う。

問 体調不良者への対応は。

答 受付の際に体温の高い方や体調不良の申し出があった方については、別途記載台を確保する。

問 投票記載台での感染防止対策は。

答 記載台の定期的な消毒を行い、消毒済みの筆記用具を用意する。なお、持参の筆記用具も使用できることも周知する。

問 開票所における対策は。

答 平成29年の衆議院議員選挙では69名で対応したが、票の開披と点検業務の人員を兼務として10名減員する。

問 感染症対策のため、通常時



よりも多くの人員が必要になるが、民間事業者等への業務委託の考えは。

答 投票事務にあたる人員は選挙管理委員会が委嘱している。

有権者の多い市街地7箇所と山部福祉センターの投票所に、感染防止対策に必要な人員を増員するため民間事業者などへの業務委託は考えていない。

問 投票所の集約による人員削減の考えは。

答 集約をすることで、より混雑することが想定されるため、現状の体制で投票事務にあたる。



北海道スタイル



選挙でも北海道スタイル

調査第7号

ワーケーションの取組みについて

〔最終報告〕

総務文教委員会

ワーケーションとは「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語で、普段の職場や居住地から離れ、リゾート地等の普段の職場とは異なる場所での普段の仕事をして働きながら休暇取得等を行う仕組みで、働き方改革の一環と位置付けられます。

情報通信技術の発展によりテレワークが容易となり、場所を選ばず仕事ができることで、人口の地方分散化による東京圏一極集中を是正するほか、関係人口・交流人口の創出による将来の移住・定住に繋がると期待されるところです。

国は、企業等へテレワークを推奨したことにより、働き方改革に一層の拍車が掛かりました。

本市においては、令和元年度・二年度に北海道が行った北海道型ワーケーション導入検討実証事業や普及展開事業に参画し情報収集を行い、現在市の単独事業である「ワーケーション受入検討実証事業」を実施中であり、事業の推進にあたっては、民間委員を中心とした組織の「富良野市ワーケーション受入研究会」を設置して官民挙げて受入について調査・研究を行っています。

調査で確認された事項や国の動向並びに他自治体の取組みを踏まえ次の4点について議論しました。

- ① 時代の流れや社会の動向の変化を的確に捉え、ワーケーションの積極的な推進が望まれる。
- ② 行政と民間組織との一層の連携と民間主導による体制づくりが必要。
- ③ 本市はリゾート観光地として豊富な自然体験メニューや基幹産業である農業や食を活かした体験豊かな自然環境に順応した誇るべき生活文化がある。
- ④ こうした「富良野の強み」を再確認してワーケーション推進に活かす必要がある。

④ ワーケーション推進には市民の協力が不可欠なことから、市民の理解促進に努力が必要。

ワーケーションの取り組みは始まったばかりであり、そのスタイルや働き方は様々な形が想定されるため、市は、臨機応変に対応し、関係人口や交流人口の増、将来の移住や企業誘致に繋がるよう努め、利用者や企業に歓迎される取り組みとなるよう期待するものです。

調査第5号 権利擁護センター事業について

〔最終報告〕

市民福祉委員会

富良野市権利擁護センター「いちい」は、認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が不十分になり、自分一人では契約や財産の管理などをするのが難しくなってきた場合、社会的不利益を受けることがないよう、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指し、その事業を社会福祉法人富良野市社会福祉協議会に委託し、さまざまな支援を行っています。支援が必要な方々の早期発見、職員の専門的知識の習得、中核機関設置後の各関係機関との連携体制の構築、事業の周知方法が課題として挙げられ、これまでの経過を踏まえ、次の3点で意見の一致をみました。

① 多岐に渡り複雑化している相談の早期解決を図り、適切な制度の利用につなげるためには、市、社会福祉協議会、司法関係、民生委員、児童委員、金融関係、医療関係、介護事業者やケアマネージャーなどと連携し、地域の支援力を強化することが欠かせないため、富良野市社会福祉協議会との協議を綿密に行い、相互のスキル

アップを図りながら、市民が安心して暮らせる事業の推進に取り組みたい。

② 成年後見制度の利用促進にあたり、中核機関が十分に機能を發揮するための準備を進めると共に、本人を見守るチームとして、福祉、医療、司法が同じイメージを持つて本事業に取り組むネットワークの早期構築に努められたい。

③ 社会の中で孤立する市民がないように、また、支援を必要とするケースを早期に発見するには、実際に相談につながった経路の分析を行うと共に、権利擁護に関する情報が市民に継続して発信し続け、困りごとがあったときに頼れるものがない場合の対応の周知方法を検討されたい。



富良野市社会福祉協議会との
意見交換

調査第6号 鳥獣被害の実態と対策について

〔最終報告〕

経済建設委員会

基幹産業を農業とする本市においては、長年の鳥獣被害に悩まされています。市内に鹿柵が設置されて以来被害額は、平成20年度の2億7千万円をピークに減少しているが、令和元年度までの平均被害額は、1億4千万円を超えています。

本市の鳥獣被害対策は、富良野市鳥獣被害防止計画に基づく協議会において、被害調査、対策、有害鳥獣の駆除などが行われています。これらの対策を系統別に見ると大きく3つに分けられます。

「野生鳥獣の生息環境の管理」

収穫後の残渣の早期すき込みなどの適正処理、また、市有林を伐採することで緩衝地帯としての役目を果たしている事例があることから、取組みの拡大が期待される。「鳥獣被害の予防と防護」

鹿柵の設置総距離は252.5kmに及んでおり、管理団体による補修や維持管理が課題となっている。

「個体数の管理」

個体数を把握するため被害状況調査やエゾシカライトセンサーが行なわれているが、正確な把握は難しく、地道な調査が必要です。

駆除は、北海道猟友会富良野支部富良野部会がその任務を担っていますが、狩猟者登録数は減少しており、人材確保と育成が急がれています。前述の経過を踏まえ次の3点で意見の一致をみました。

① 緩衝地帯の設置は一定の効果が見込めることから、設置を希望する農業者・地域・土地所有者の合意形成に努められたい。

② 鹿柵の設置年数の経過につれ、構成戸数の減少、管理の重要性の希薄化が影響を及ぼしていることから、市のリーダーシップのもと、管理団体などと維持管理のあり方を議論し、鹿柵の有効性が持続するよう努められたい。

③ 富良野市鳥獣被害対策実施隊の機能が最大限発揮されるよう、北海道猟友会富良野支部富良野部会と対応を協議し、捕獲圧を高める対策を講じられたい。



鳥獣に荒らされたメロン

当委員会では、市民にわかりやすい伝わりやすい広報の取り組みとして、議会広報特別委員会と連携し、昨年11月発行の議会広報紙からデザイン変更を行いました。変更の目的は、議会に対し市民に興味を持ってもらう事、議会の動きが市民にわかりやすく伝わりやすい事とし、文章やレイアウトに重点を置き紙面デザインの変更を行いました。

その結果、市民からは、見やすくなった、親しみやすくなった、内容の面で充実したなど、良い感想が多く聞かれました。また、広聴の取り組みでは、議会報告会役員会との連携により、議会報告会への参加者を増やす取り組みを進める予定でしたが、昨年末にかけて新型コロナウイルスの感染が急拡大したため、やむなく令和2年度内における議会報告会の開催を中止をしたところです。

今後は、議会広報特別委員会、議会報告会役員会と連携し、広聴広報活動の取り組み強化に努めていきます。

議員定数のあり方については、

本市議会における過去の議員定数に関する議論経過を確認した上で、議論のポイントを整理しました。適正な議員定数を考える上では、本市の産業構造、人口動態、地域の歴史のほか、議会機能の維持と強化、議員のなり手不足への対応、本市議会における議会改革の取り組みの可視化など、複合的な要素を勘案して総合的に判断する必要があります。まずは、これらを全議員で共有するため、自由討議などを活用し議論を深めて行く事としました。さらに、議員相互の議論を踏まえ、市民の意見を参考とする必要もあることから、地域や年齢階層に偏りのない市民意見の抽出方法についても検討を進めていきます。

議会運営委員会より富良野市議会基本条例の検証方法の策定を依頼され、当委員会で議論を行いました。その結果、富良野市議会基本条例検証シートを作成、これにより検証作業を進めるよう、議会運営委員会に対して報告を行いました。

調査申出

●議会運営委員会では議会の議決により、任期中、次のとおり調査を行います。

■議運調査

委員会名	調査番号	調査件名
議会運営委員会	議運調査第1号	定例会及び臨時会の会期及び運営に関する調査について
議会運営委員会	議運調査第2号	富良野市議会基本条例の運用及び検証に関する調査について

議会日誌 ～2月から4月の議会関係の開催状況をお知らせします～

2月

1日・総務文教委員会
3日・市民福祉委員会
4日・経済建設委員会
9日・総務文教委員会
10日・議員協議会
16日・総務文教委員会
・市民福祉委員会
18日・第1回定例会告示
22日・議会運営委員会

25日・第1回定例会（1日目）

26日・第1回定例会（2日目）

3月

1日・第1回定例会（3日目）

4日・第1回定例会（4日目）

・予算特別委員会（1日目）

・議会広報特別委員会

9日・第1回定例会（5日目）

10日・予算特別委員会（2日目）

11日・予算特別委員会（3日目）

12日・予算特別委員会（4日目）

・議会運営委員会

17日・第1回定例会（6日目）

・議員協議会

25日・議会広報特別委員会

4月

9日・議会広報特別委員会

20日・議会広報特別委員会

議会の中からこんにちは

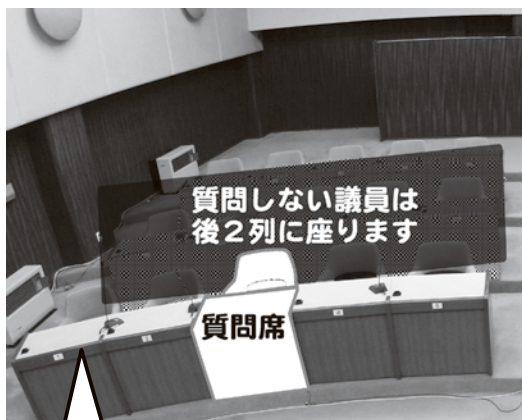
議場の新型コロナウイルス感染症対策について

議場における新型コロナウイルス感染症対策についてご紹介します。
傍聴者をはじめ、説明員や議員の感染防止に努めています。



傍聴席の入り口では、手指の消毒と検温をお願いしています。席は1つおきに着席できます。

議長席、演壇にはアクリル板(白い囲みのところ)を設置し、マスク着用のまま発言します。発言終了後は消毒を行います。



左半分が一般質問、右半分が議案審議などの議員の着席位置です。
一般質問では、白塗りの席を質問席として、左右にほかの議員が着席せず、質問席の後列に着席します。

議会の中からこんにちは
次回定例会

次回定例会（令和3年6月）のご案内

次回定例会の開会予定です。開会は通常10時となっています。

日	月	火	水	木	金	土
5/30	5/31	6/1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
				本会議		
13	14	15	16	17	18	19
				一般質問	一般質問	
20	21	22	23	24	25	26
	予備日		本会議			
27	28	29	30	7/1	2	3

議会日程は変更になる場合があります。

議会を 見る聴く

インターネット中継

本会議や一般質問はインターネット中継を行っています。

[富良野市議会インターネット中継](#) [検索](#)
インターネット生中継・録画中継

ラジオ放送

一般質問の質疑を編集したものをラジオふらので放送しています。放送日程については議会ホームページなどをご確認下さい。

議会を 読む知る

議会広報紙

定例会ごとに、議会広報紙を発行し全戸配布しています。ホームページからもご覧になれます。

議会ホームページ

議会ホームページでは、本会議や諸会議の開催案内や会議録などを掲載しています。ぜひご覧ください。

議会のから こんにちは Special

常任委員会・特別委員会の改選がありました

市民福祉委員会



水間 健太 大栗 民江 松下寿美枝
天日 公子 ◎佐藤 秀靖 ○関野 常勝

総務文教委員会



石上 孝雄 渋谷 正文 家入 茂
○後藤英知夫 ◎宇治 則幸 黒岩 岳雄

議会運営委員会



後藤英知夫 大西三奈子 佐藤 秀靖
天日 公子 ◎石上 孝雄 ○水間 健太 宇治 則幸

経済建設委員会



宮田 均 本間 敏行 今 利一
○大西三奈子 ◎小林 裕幸 日里 雅至

議会広報特別委員会



大西三奈子 宮田 均 松下寿美枝
渋谷 正文 ◎関野 常勝 ○水間 健太 小林 裕幸

第1回定例会の最終日に、常任委員会・議会運営委員会委員の改選と、議会広報特別委員会の設置動議により委員の選任が行われました。

氏名の前にある◎は委員長、○が副委員長となります。

各委員会の任期は、5月14日から令和5年の議員任期満了までとなります。

編集後記

▼令和も3年目に入りました。富良野も春を迎え、畑を走るトラクターを見ると希望を感じます。

▼令和2年度は、新型コロナウイルスに翻弄され続けた1年でした。先の見えない不安感で心身ともに疲弊している方も多いと思います。

▼「一陽来復」春の訪れとともに、不安が希望に変わることを願っています。

▼前期の委員会任期も93号の発行で終わりとなりました。

▼令和元年8月発行した広報の編集後記で新たな取り組みをすると宣言しましたが、なんとか、紙面デザインの変更を行うことが出来ました。
▼今後は新委員長のもと、さらに充実した紙面となるよう取り組んでいきます。

(委員長 水間 健太)

発行責任者

議長 黒岩 岳雄

議会広報特別委員会

委員長 水間 健太
副委員長 小林 裕幸
委員 渋谷 正文
〃 大西三奈子
〃 関野 常勝
〃 家入 茂
〃 松下寿美枝